

## 3-2. 移動動線図

## 目次

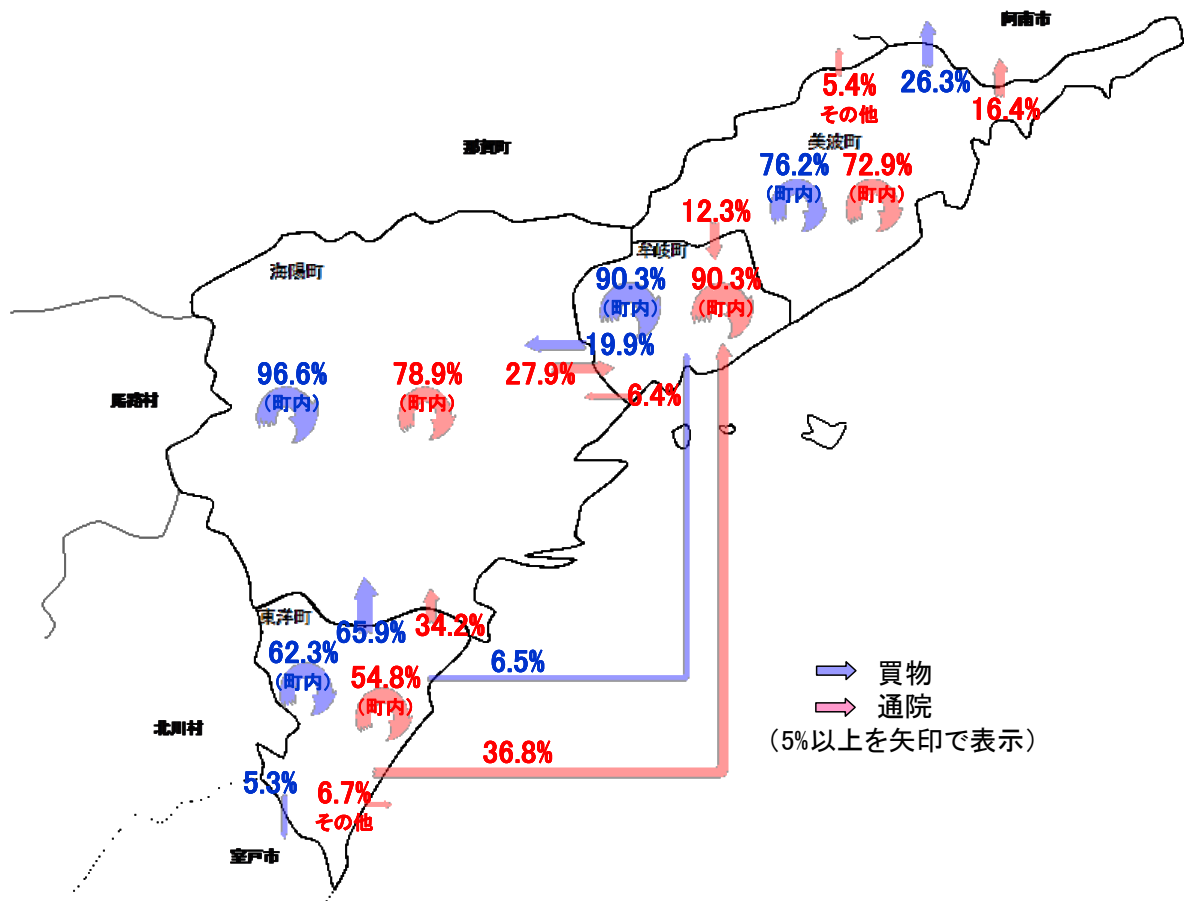
3-2. 移動動線図.....	1
3-2-1. 阿佐東地域全体（回答者全員） .....	1
3-2-2. 阿佐東地域全体（運転しない高齢者） .....	2
3-2-3. 美波町移動動線図 .....	3
3-2-4. 牟岐町移動動線図 .....	4
3-2-5. 海陽町移動動線図 .....	5
3-2-6. 東洋町移動動線図 .....	6

### 3-2. 移動動線図

各種のアンケートを実施し、地域住民をはじめとする地域公共交通機関の利用の実態把握を実施。

2. の「主要な道路や病院、公共施設等」や「既存の公共交通機関の現状」をベースに、今回のアンケート調査の結果を基に、阿佐東地域住民の「買物」と「通院」についての移動動線を概観した。

#### 3-2-1. 阿佐東地域全体（回答者全員）

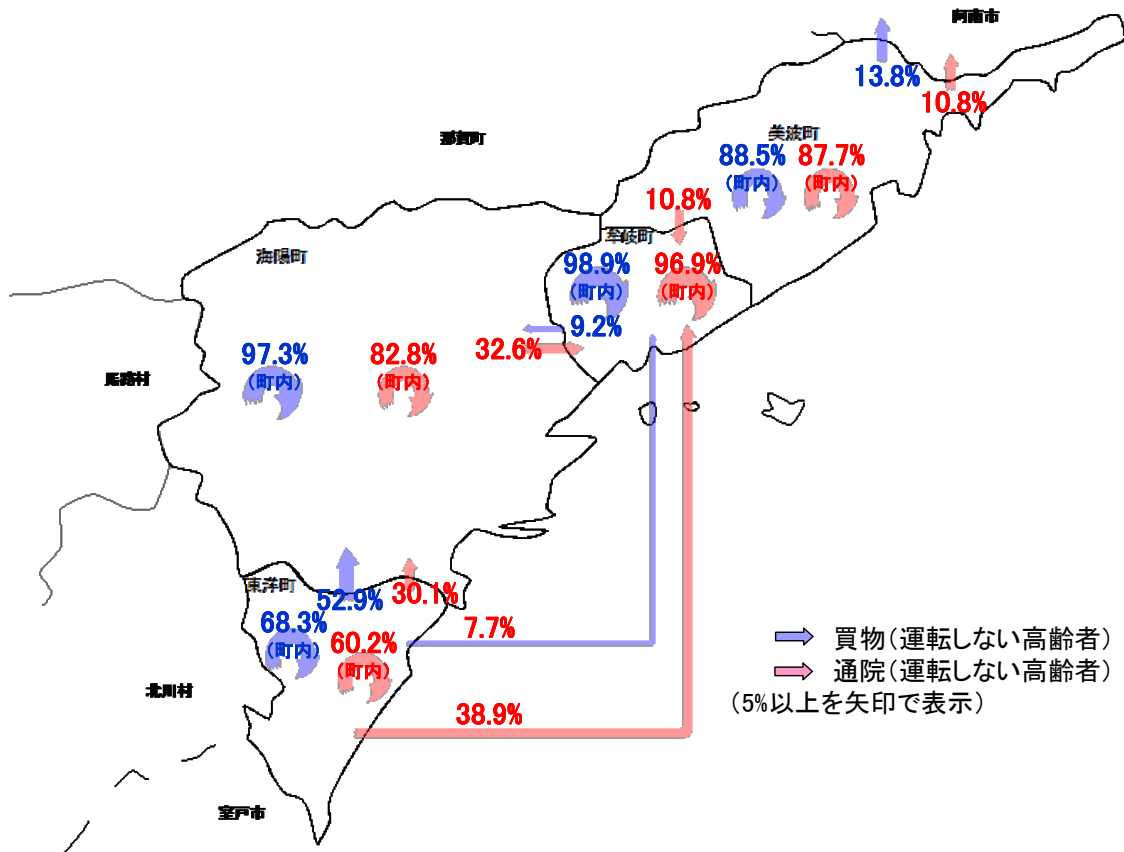


地域全体の移動のうち、「買物」では、美波町の住民の約3割が阿南市の商業施設を利用しており、牟岐町及び海陽町では、町内でほぼ完結。

東洋町では、ほぼ半数が海陽町の商業施設を日常的に利用している。

「通院」では、美波町の住民の2割弱が阿南市の医療施設を利用し、牟岐町では町内で完結し、海陽町及び東洋町では、2割から4割の割合で牟岐町の医療施設を利用している。

### 3-2-2. 阿佐東地域全体（運転しない高齢者）



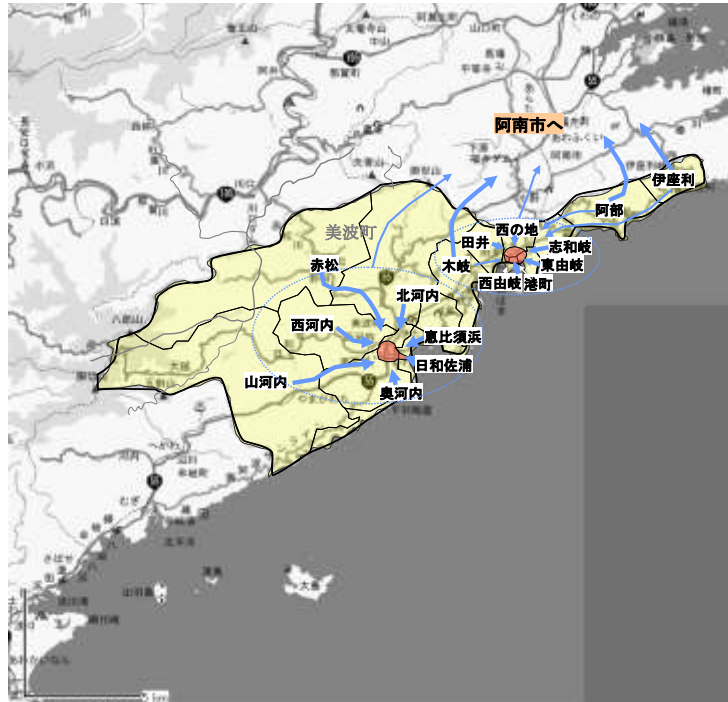
「運転しない高齢者」の移動動線は、先の住民全体の状況と比較すると、今住んでいる町内で完結する率が「買物」「通院」とも比率が高くなっている。

また東洋町以外の高齢者では、今住んでいる町を越えて移動する頻度が少なくなる傾向となる。

### 3-2-3. 美波町移動動線図

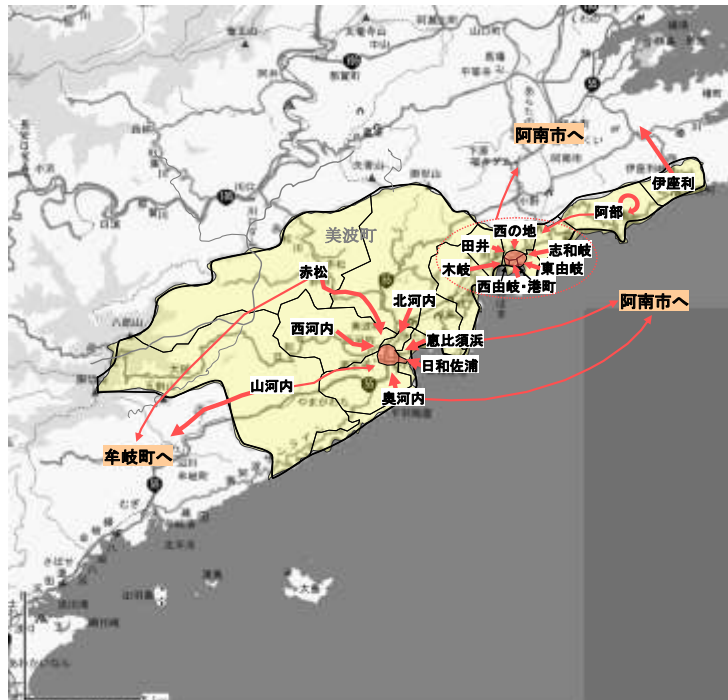
(買物) 太線：第1動線 細線：第2動線

(\*第1・2動線とは、アンケート結果の回答数が、1位・2位であった方向)  
各旧町に商店街があり、第1動線は各商店街への移動となっているが、第2動線として阿南市への移動がみられる。伊座利、阿部については第1・第2が逆転している。



(通院) 太線：第1動線 細線：第2動線

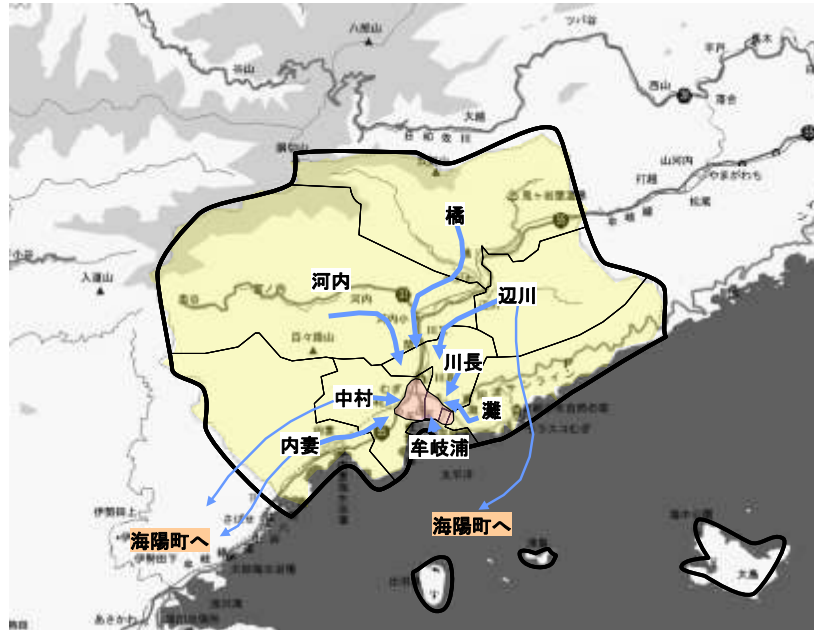
各旧町の街中に向け周辺部から第1動線が多くみられるが、伊座利地区は阿南市へ、阿部地区は地域内、山河内は隣接の牟岐町への第1動線がみられる。第2動線は一部を除き阿南市への移動となっている。



### 3-2-4. 牟岐町移動動線図

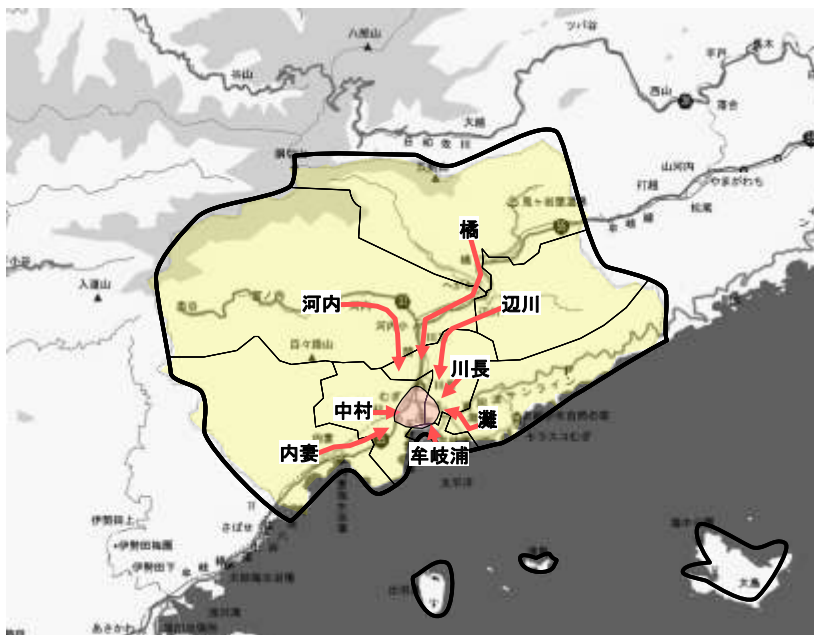
(買物) 太線：第1動線 細線：第2動線

すべての地区から街中への第1動線がみられる。辺川・中村・内妻地区から第2動線として海陽町への移動がある。



(通院) 太線：第1、2位選択とも同方向

すべての地区から、街中の医療施設への第1動線がみられる。他の町に見られる第2動線は確認できない。全く存在しないわけではないが、町外への通院に関する移動ニーズが極めて少なくなっている。



### 3-2-5. 海陽町移動動線図

(買物) 太線：第1動線 細線：第2動線

第1動線、第2動線とも同じ方向であり、旧3町の各地区とも、大型店舗へ集中している。なお旧穴喰町からは穴喰浦にある商店への回答が多数あった。



(通院) 太線：第1動線 細線：第2動線

旧海南町・旧海部町からは大里、四方原に、また旧穴喰町からは穴喰浦に第1動線が見られ、第2動線は牟岐町となっている。

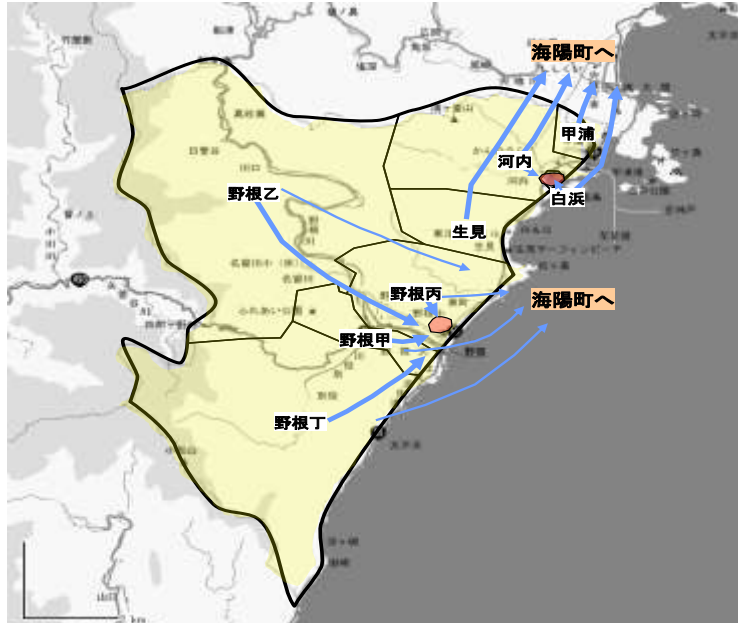




### 3-2-6. 東洋町移動動線図

(買物) 太線：第1動線 細線：第2動線

甲浦・河内・白浜・生見の各地区とも、第1動線は海陽町となっている。各野根地区からは地区内の商業施設への第1動線が見られるものの、第2動線は海陽町へととなっている。室戸方面への動線は現れていない。



(通院) 太線：第1動線 細線：第2動線

甲浦・河内からの第1動線は甲浦地区内の医療施設となっているが、ほぼ同レベルで牟岐町への動線も確認できた。その他の各地区の第1動線は野根丙地区の医療施設へ向けた動線で、第2動線は牟岐町への動線となっている。

